

RESOUND VX8.1

ポータブルコラムアレイ取扱説明書

Version 1.0



株式会社 サウンドハウス
〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3
TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222
<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

記号の説明



感電の危険性があります。カバーを開けないでください。



ユーザーに危険を警告しています。製品内の電圧により、感電の危険性があります。



安全にご使用いただくためにマニュアルの指示に従ってください。

警告：感電の危険を避けるため、カバーを外さないでください。

安全上の重要事項

1. 本マニュアルに記載されている全ての警告と指示に従ってください。
2. 本体を水の近くで使用しないでください。
3. 本体を水または液体の中にいれないでください。
4. 本体に直接エアゾールスプレー、クリーナー、消毒剤や殺虫剤を使用しないでください。
5. メンテナンスは乾いた布で拭いてください。
6. 本体の通気口をふさがないように、マニュアルの指示に従って設置してください。
7. 熱源（ラジエーター、ストーブ、アンプ）などの近くに設置しないでください。
8. 安全のため、必ず付属の電源コードをご使用ください。電源コードを抜く際は、コードを引っ張らず、プラグ部分を持って引き抜くようにしてください。
9. 製品受領時に外部に損傷（電源ケーブル等を含む）が無いか確認してください。もし製品にダメージが有った場合、ただちに販売店へ連絡してください。修理を行わずに使用を続けると更なる深刻なダメージを被る恐れがあります。その状況で使用を続けた場合は、保証期間内でも保証外の対応となる場合があります。
10. アクセサリーやパーツは、メーカーが定めた物をご使用ください。
11. 長期間使用しない場合や、雷が発生した時はプラグを抜いてください。
12. 電源周りのトラブルや液体をこぼしてしまった時、高い湿度にさらされた時は、販売店に相談してください。そのまま使用を続けたり、無理に自分で修理を試みないでください。
13. 地域の法律に沿ってご使用ください。
14. 設置について疑問が生じた場合は、販売店に相談してください。

目次

記号の説明.....	2
安全上の重要事項.....	2
はじめに.....	4
主な特徴.....	4
詳細仕様.....	4
クイック・スタート	6
接続とコントロール	11
Resound VX8.1 を 2 台接続.....	13

はじめに

この度は、Samson Resound VX8.1 をご購入いただき、誠にありがとうございます。Resound VX8.1 は、洗練された持ち運びやすいパッケージにプレミアムなサウンドを搭載するポータブル・コラムアレイ・システムです。モバイル DJ、バンド、シンガーソングライターなどが使用する高品質のサウンドが求められる会場に最適です。この 700W (連続) のアクティブシステムは、3 チャンネル・ミキサー、大口径 12 インチ・サブウーファー、垂直に配置された 8 つの 3.5 インチ・ドライバで構成されており、水平 120° ～ 200° の幅広いエリアに優れたバランスのサウンドを提供します。本製品の性能を最大限に発揮させ、末永くお使いいただくため、ご使用になる前に、この取扱説明書を必ずお読みください。

主な特徴

- 重さ 30.4kg のオールインワン・ポータブル・コラム・アレイシステム
- サブウーファー上部にスパーサー、センタースピーカーアレイ、トップスピーカーアレイを差し込むだけの簡単セットアップ
- 3 チャンネル・ミキサーを搭載したサブウーファー
- Bluetooth 接続によるワイヤレス音楽ソースの再生に対応
- 選択可能な 4 つの EQ プリセット (MUSIC/LIVE/SPEECH/DJ)
- 温度制御冷却ファンによるシステム保護
- スチールグリル、サイドキャリーハンドルを備えた頑強なエンクロージャー
- コラムアレイ (スパーサー、センタースピーカーアレイ、トップスピーカーアレイ) を持ち運ぶためのショルダーバッグが付属
-

詳細仕様

■アンプ : Class D

■アンプ出力 :

700W 連続(350W Sub / 350W Array)

1400W プログラム(700W Sub / 700W Array)

■周波数特性 :

60Hz-20kHz (-3dB)

40Hz-20kHz (-6dB)

■最大出力音圧レベル : Max. SPL125dB

■スピーカー

12 インチ・ウーファー x 1

3.5 インチ・ドライバー x 8

■指向角度

垂直：120° (center), 200° (rotation)

■入力

入力 1：XLR/1/4 インチコンボ (マイク/ライン)

入力 2：XLR/1/4 インチコンボ (ライン/インスト)、RCA x 2

■出力

XLR Thru (Mix/Channel 1)

■レベルコントロール：入力 1、入力 2、Bluetooth

■DSP：4 プリセット (Music, Live, Speech, DJ)、スイッチ切替

■EQ コラムセレクト：Center/Rotate、スイッチ切替

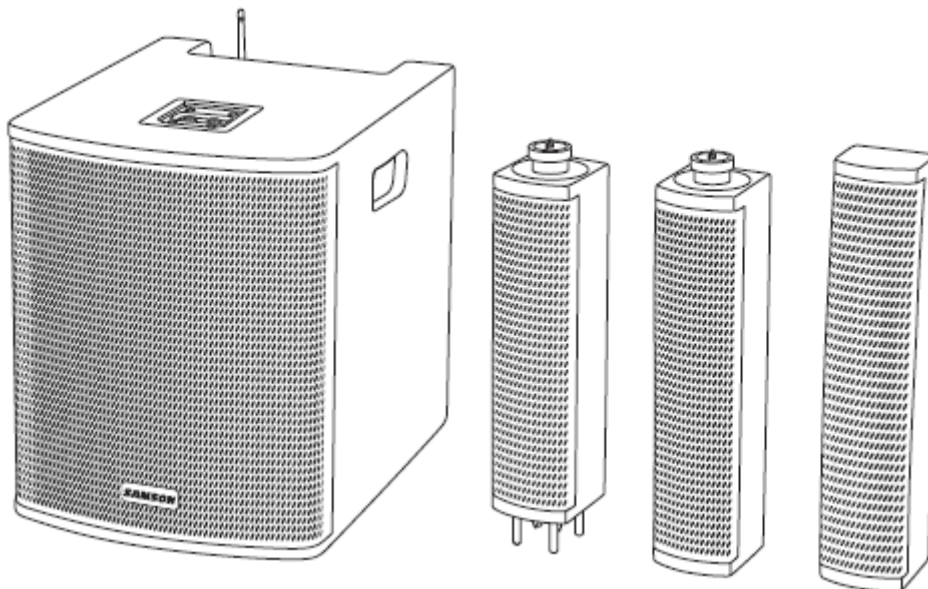
■電源：100V 50/60Hz

■消費電力：700W

■寸法：約幅 38.5 x 高さ 182 x 奥行 50 cm

■重量：30.4kg

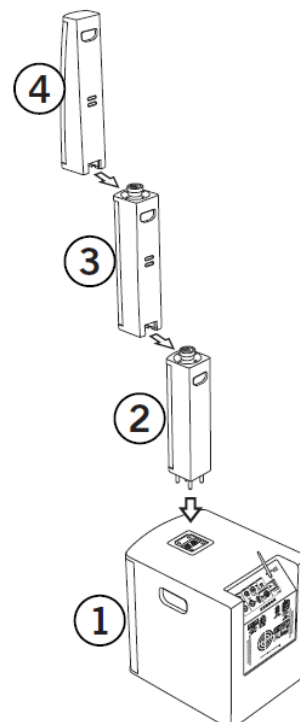
クイック・スタート



VX8.1 は 4 つのセクションで構成されています：

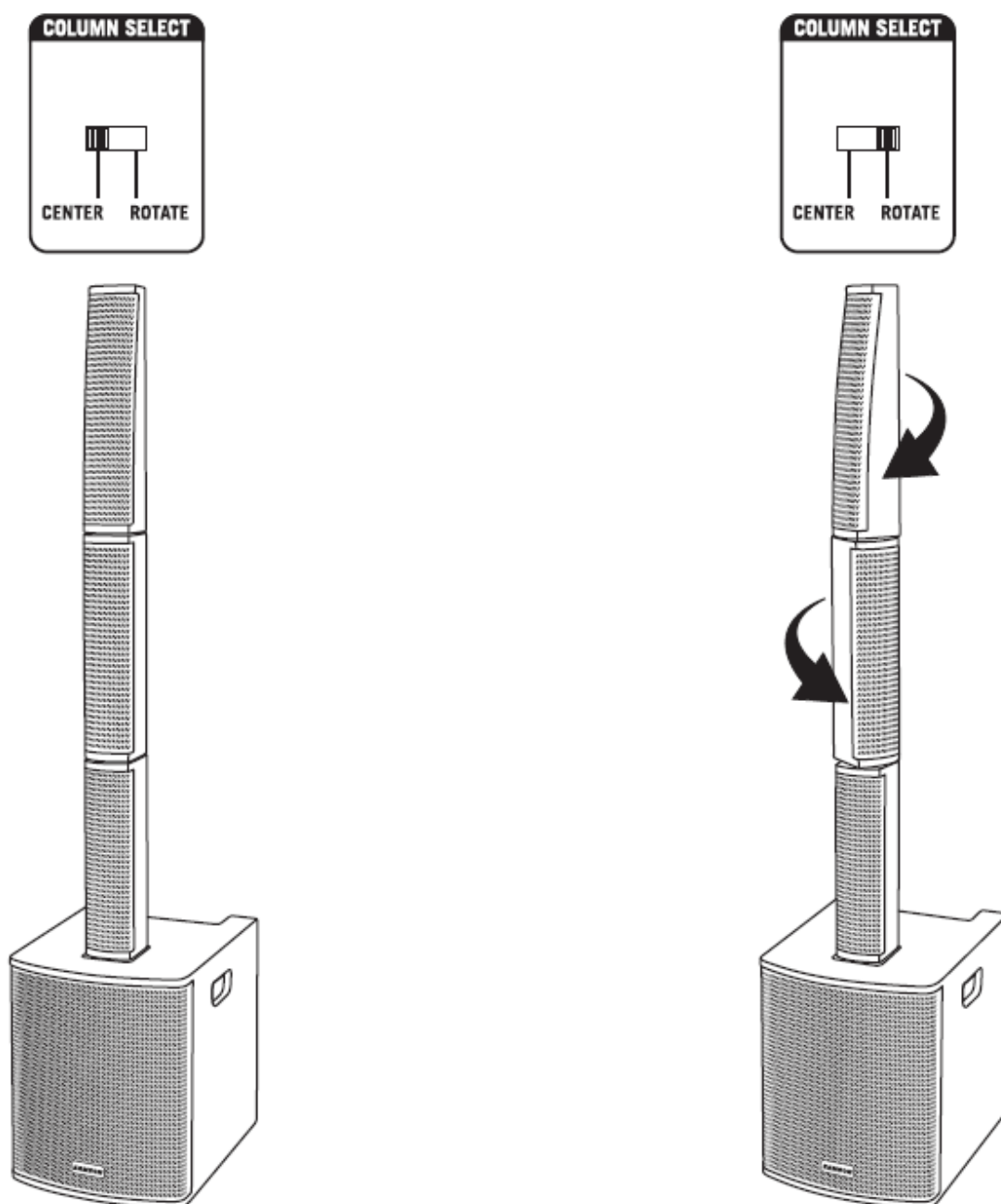
アンプ内蔵 12 インチ・サブウーファー、スパーサー、4 つの 3.5 インチ・ドライバーを搭載したセンタースピーカーアレイ、4 つの 3.5 インチ・ドライバーを搭載したトップスピーカーアレイです。以下の手順に従ってシステムを組み立ててください。

1. サブウーファーを平らで安定した場所に置きます。
2. スパーサーの 4 つのピンとサブウーファーの 4 つの穴の位置を合わせ、スパーサー部をサブウーファーに挿入します。
3. センタースピーカーアレイを、カチッと音がするまでスパーサーの上部にスライドさせます。
4. トップスピーカーアレイをセンタースピーカーアレイの上部に、カチッと音がするまでスライドさせます。



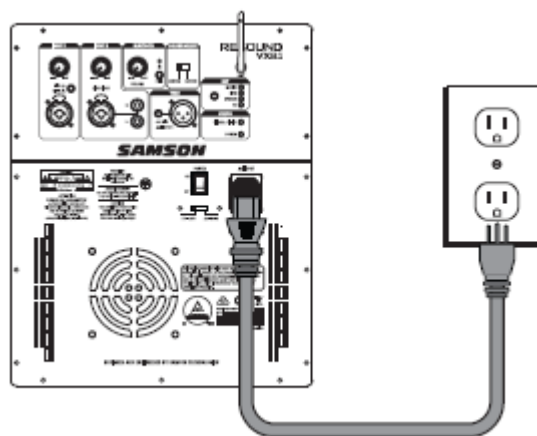
2つのスピーカーアレイを正面にした場合、水平方向に120°のカバレッジを提供します。2つのスピーカーアレイを反対方向に45°回転させることができ、200°という非常に広いカバレッジを実現します。

オンボードDSPには2つのコラムセレクト設定があります。スピーカーアレイを中央に配置する場合、COLUMN SELECTスイッチをCenterの位置に設定します。2つのアレイを45°回転させる場合は、スイッチをRotateポジションに設定します。こうすることで、スピーカーアレイのトーンレスポンスを調整できます。



クイックスタート

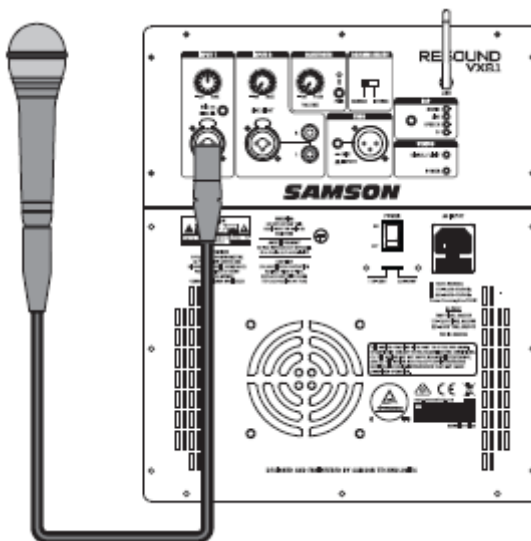
1. 電源スイッチをオフの位置に設定し、すべての **LEVEL** コントロールを反時計回りに **0** まで完全に回します。
2. 付属の電源コードをスピーカーの **AC** 入力に接続し、コンセントに差し込みます。
3. 電源スイッチをオンにします。
4. オーディオソースを接続します。
5. **MASTER VOLUME** コントロールを上げ、入力レベルを設定します。



接続

入力 1 (MIC / LINE)

1. マイクは **XLR** ケーブルを使用し、ラインレベル機器はフォンケーブルを使用します。
2. マイクを接続する場合は、**MIC / LINE** スイッチを下 (**MIC**) の位置に設定します。ラインレベル機器を接続する場合は、**LINE / MIC** スイッチを上 (**LINE**) の位置に設定します。
3. マイクに向かって話すか、ラインレベルのオーディオソースから音楽を再生している間、チャンネル **INPUT 1** のボリュームコントロールをお好みのレベルになるまでゆっくりと上げてください。



注意

チャンネル **INPUT 1** を使用しない場合、不要なノイズが入らないようにボリュームを下げてください。

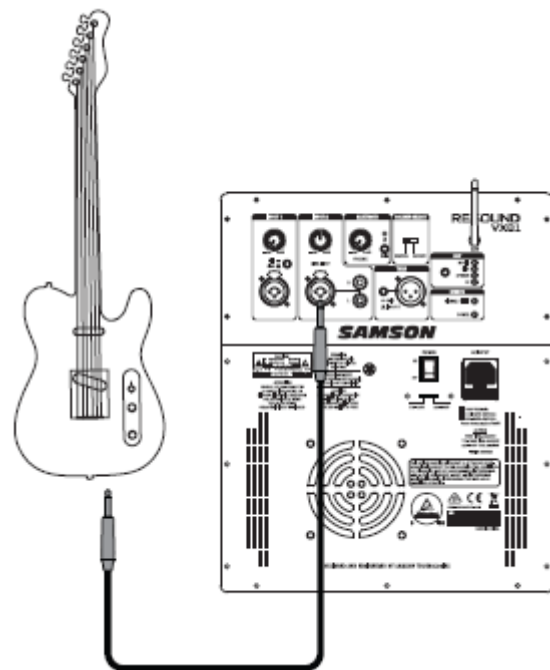
入力 2

エレキギターを接続

1. エレクトリックギターを接続します。
楽器用ケーブル(フォン)を使用します。
2. LINE/INST スイッチを INST (下) の位置にします。
3. ギターを弾きながらチャンネル INPUT2 の Volume コントロールをお好みのレベルになるまでゆっくりと調整してください。

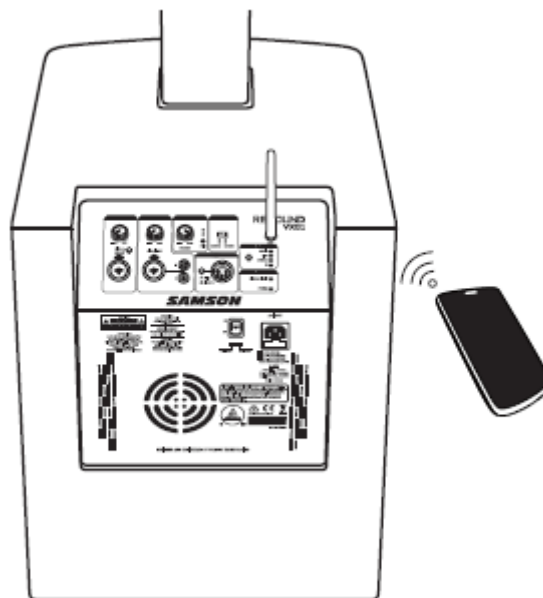
注意

エレキギターを接続する場合は、ギターアンプのサウンドを再現するために、楽器と本製品の間にプリアンプを使用することをお勧めします。

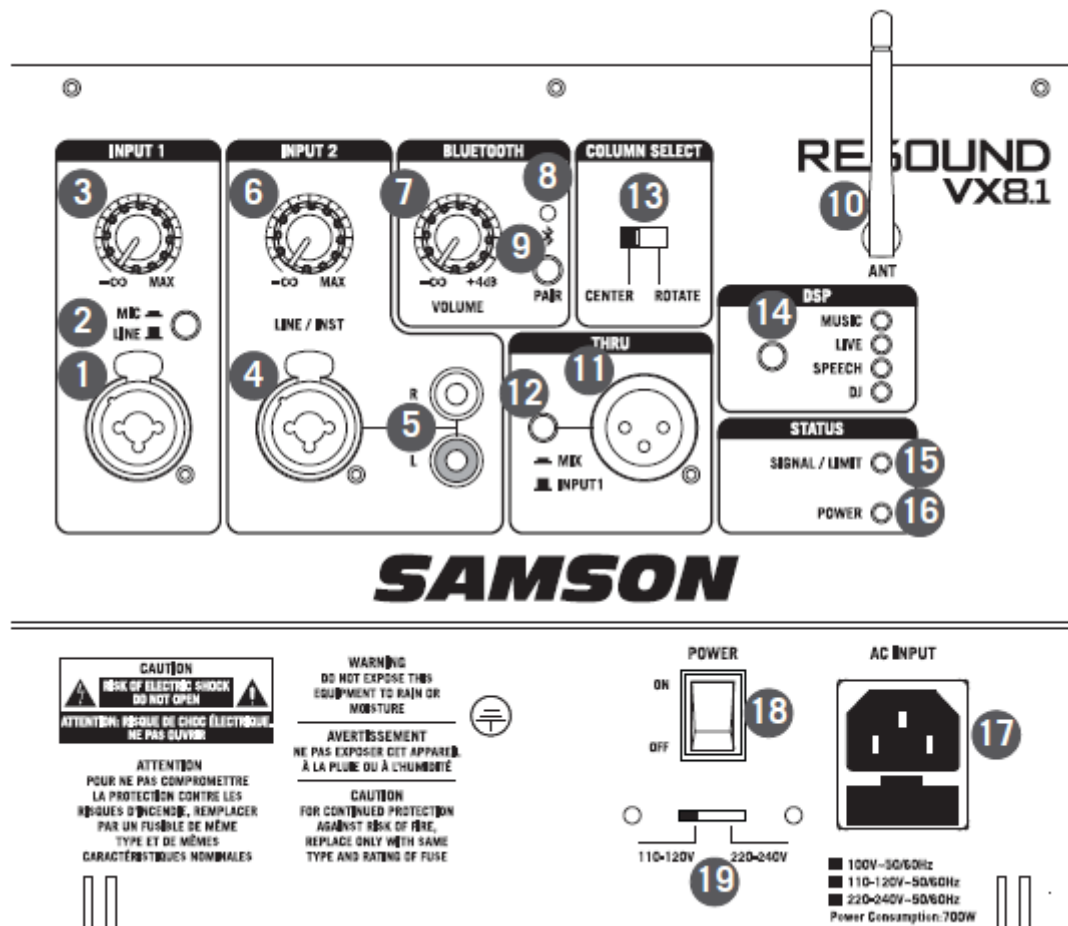


Bluetooth

1. **BLUETOOTH** ボリュームコントロールを反時計回りに 0 まで回します。
2. Bluetooth アンテナが垂直になるように回転させます。
3. 本製品と Bluetooth 機器の電源がオンになっている状態で、リアパネルにある **PAIR** ボタンを押して、スピーカーを検出可能な状態にします。Bluetooth インジケーターがゆっくりと青く点滅します。
4. Bluetooth 機器から、使用可能な機器を「検出」するように設定します。
5. Bluetooth 機器リストから「**SAMSON BLUETOOTH**」を選択します。
6. Bluetooth 機器からパスキーの入力を求められたら、数字 0000 (4 つのゼロ) を入力し、**OK** を押します。機器によっては、接続を承認するよう求められます。
7. ペアリングが完了すると、インジケーターが青く点灯します。これで、お使いの機器から本製品のスピーカーに音声をストリーミングできるようになります。
8. Bluetooth 機器のボリュームを上げた状態で音楽を再生し、好みの音量になるまで本製品のボリュームをゆっくりと上げてください。



接続とコントロール



1. INPUT 1
XLR フォン・コンボ入力（マイクまたはラインレベル信号の機器を接続）です。
2. LINE / MIC スイッチ
CH 入力ゲインを切り換えます。
3. INPUT 1 Volume つまみ
INPUT 1 マイク/ライン入力のレベルを調節します。
4. INPUT 2
XLR フォン・コンボ入力（ラインレベル信号の楽器や機器を接続）です。
5. INPUT 2 Stereo Input
ステレオ RCA 入力（MP3 やモバイル機器、その他ラインレベルの機器を接続）
XLR フォン・コンボ入力と RCA の両方に接続した場合、両方とも出力されます。
6. INPUT 2 Volume つまみ
INPUT 2 入力のレベルをコントロールします。
7. BLUETOOTH Volume つまみ

Bluetooth 入力のレベルをコントロールします。

8. Pairing Indicator

Bluetooth ステータスを表示します。

9. PAIR ボタン

このボタンを押してペアリングモードを有効にし、Bluetooth オーディオ機器に接続します。

10. Bluetooth アンテナ

機器からの信号を受信するアンテナです。Bluetooth レシーバーの通信距離は約 30m です。

11. THRU OUT

ラインレベル XLR 出力端子です。各 Volume つまみの影響は受けません。Bluetooth 音源も出力されます。

注意

本製品の THRU 出力に別のスピーカー・システムを接続しているシステムを立ち上げる場合、まず本製品のメインの電源をオンにしてから、接続するスピーカーの電源をオンにしてください。電源を切るときは、接続するすべてのスピーカーの電源を切ってから、本製品の電源を切ることをお勧めします。

12. MIX / INPUT 1 スイッチ

THRU 出力に送る信号を選択するスイッチです。スイッチが MIX の位置にある場合、入力 1、入力 2、Bluetooth 音源をミックスした信号が出力されます。スイッチが INPUT 1 の位置にある場合、THRU 出力は入力 1、Bluetooth 音源の信号をミックスした信号が出力されます。

13. COLUMN SELECT スイッチ

スピーカーの位置に応じて、スピーカーアレイに適した周波数特性を選択するスイッチです。スピーカーがすべて正面を向いている場合は、CENTER を使用します。スピーカーアレイが 45° 反対方向に回転している場合は、ROTATE を使用します。

14. DSP

4 つの EQ プリセット・カーブが用意されています (MUSIC、LIVE、SPEECH、DJ)

15. SIGNAL / LIMIT インジケーター

入力に信号がある場合は緑色に点灯し、内蔵アンプがクリッピング・ポイントに近く、リミッターが作動している場合は赤色に点灯します。インジケーターが頻繁に赤色に点灯する場合は、本製品の入力ボリュームを下げるか、ソースの信号レベルを下げてください。

16. POWER インジケータ

本製品の電源がオンすると、このインジケータが緑色に点灯します。

17. AC 電源コネクタ

付属の 3 ピン IEC 電源ケーブルをここに接続します。

18. POWER スイッチ

電源をオン／オフします。

19. AC 電圧選択スイッチ

変更しないでください。

Resound VX8.1 を 2 台接続

2 台の Resound VX8.1 システムを使用する大規模なサウンド・システムには、2 つの接続方法があります。

(1) 2 台の Resound VX8.1 システムをミキサーに接続

1. 本製品とミキサーの電源スイッチを OFF にします。
2. 本製品のリアパネルにある VOLUME コントロールを、反時計回りいっぱいまで回します。
3. オーディオソースをミキサーに接続します。
4. ミキサーの出力端子から、本製品リアパネルの INPUT 1 に接続します。MIC / LINE スイッチを LINE の位置に設定します。
5. 付属の電源ケーブルを、本製品の背面にある IEC 電源ソケットに接続します。電源ケーブルを AC コンセントに差し込みます。

注意

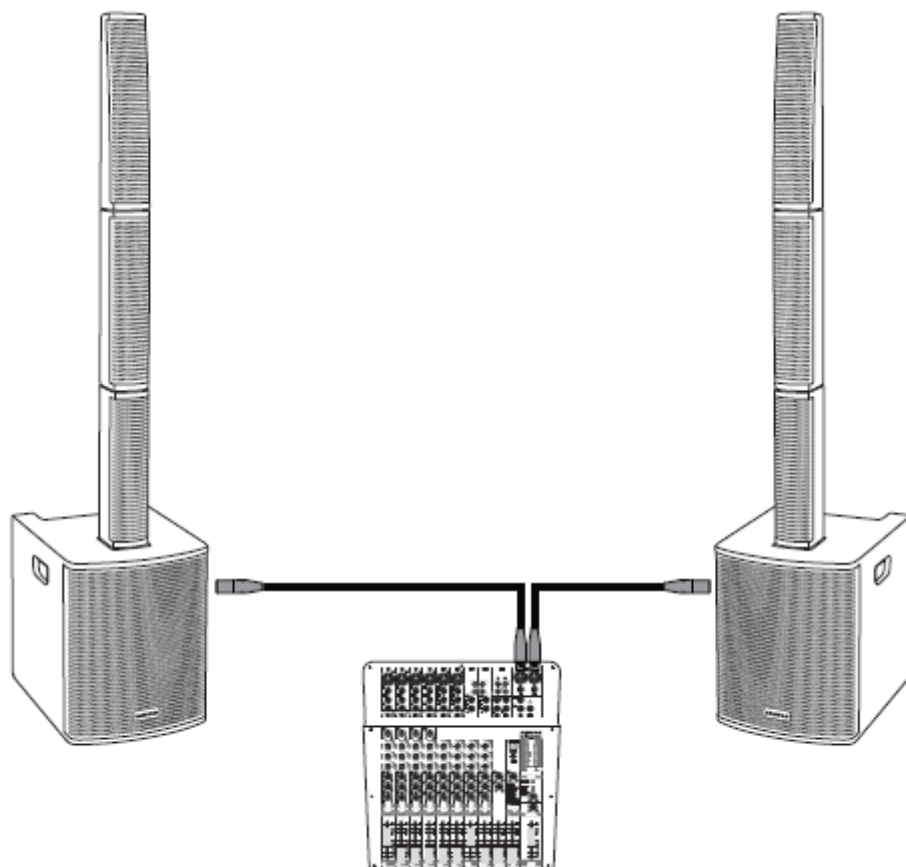
AC 電源コンセントの電圧が、本製品のリアパネルに表示されている電圧に合っているか確認してください。

6. 本製品の電源スイッチをオンにします。
7. ミキサーからオーディオ信号を出力し、ミキサーの出力メーターを使用して、適切なレベルが得られていることを確認します。
8. 希望のレベルに達するまで、本製品 INPUT 1 のボリュームをゆっくりと上げます。
9. スピーカーからの音量が非常に大きくなったり、LIMIT インジケータが頻繁に点滅したりする場合は、Peak インジケータが消灯し、信号のピーク時に時々点灯するようになるまで、本製品の Volume コントロールを少し下げてください。

注意

電源オン、電源オフの前に、オーディオ機器の「最後にオン、最初にオフ」のルールを覚えておいてください。システムの電源オンの際は、すべての配線が接続されていることを確認し、

まずミキサーとその他の機器の電源をオンにしてから、本製品の電源をオンにしてください。
電源を切るときは、まず本製品の電源を切り、次にミキサーとその他の機器の電源を切ります。



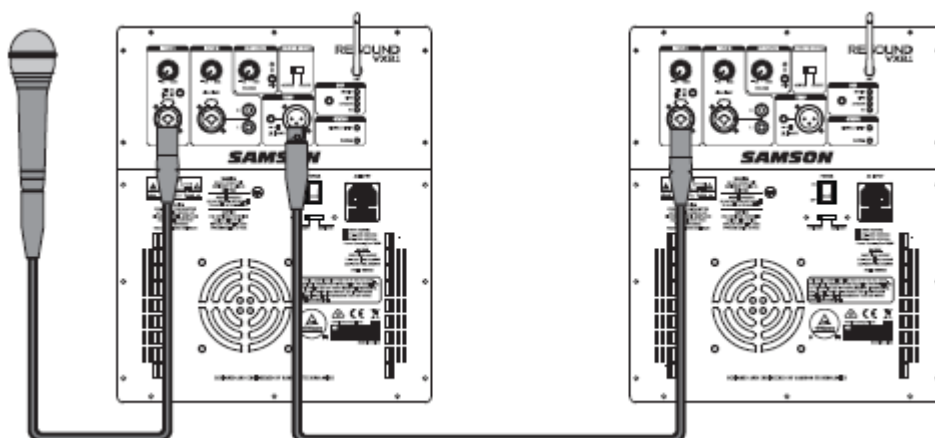
(2) Resound VX8.1 を連結する

ミキサーがない場合や入力ソースが少ない場合に便利です。

1. すべての入力ソースをメイン（1 台目）に接続します。
2. MIX / INPUT 1 スイッチを MIX ポジションに設定します。
3. メインの THRU 出力から、2 台目の INPUT1 に XLR ケーブルを接続します。
4. 2 台目の INPUT 1 MIC / LINE スイッチを LINE の位置に設定します。
5. メインシステムの音声レベルを設定します。
6. 2 台目の INPUT 1 ボリュームを、希望の出力レベルになるまで上げます。

注意

他のパワードスピーカーシステムを本製品の THRU 出力に接続する場合、本製品の電源をオンにしてから、接続するスピーカーの電源をオンにしてください。システムの電源を切るときは、接続するすべてのスピーカーの電源をオフにしてから、メインスピーカーの電源をオフにしてください。



SAMSON®